
圏央道大網白里スマートインターチェンジ近接エリアの土地利用 に関するサウンディング型市場調査結果

担当課：大網白里市 企画政策課

1. 実施期間

- 令和7年1月27日（月）～令和7年3月21日（金）

2. 参加者数

- 3社（うち建設3社）

3. 主な意見

(1) 事業内容

- ・産業団地の整備
- ・土地区画整理事業
- ・企業誘致
- ・地域未来投資促進法に基づく事業

(2) 事業手法

- ・土地区画整理事業（業務代行方式）
- ・民間事業（開発許可）
- ・PFI（BTO）

(3) 土地の権利形態

- ・購入
- ・賃貸借
- ・土地の権利形態を決めるためには、事業者、事業計画、事業性の検討が必要

(4) 土地の面積

- ・10～20ha 程度
- ・事業予定面積が不明なため、回答不可
- ・進出企業の希望する規模、企業数に大きく左右されるため、現時点では回答不可

(5) 立地業種

- ・製造業、物流、工場、データセンター等

(6) 立地事業者の見込み

- ・立地可能なパートナー企業との合併等
- ・過去の取引や実績を活かして立地事業者を確保

- ・グループ会社との連携により立地事業者を確保
- ・社内の専門部署が事業者と協議・交渉

(7) 事業化に当たって想定される課題

- ・農振除外申請、農地転用の許可申請
- ・関係機関との折衝・協議
- ・土地所有者との合意形成
- ・近隣住民の事業への賛否

(8) 事業化に必要なインフラ設備

- ・上水道、下水道（立地業種によっては浄化槽でも可）
- ・高圧・特別高圧などの受電、送電網
- ・都市ガス
- ・計画地にアクセスする道路幅の拡幅

(9) 実施スケジュール（準備期間、実施期間等）

- ・5～10 年程度
- ・事業計画の検討段階のため、回答不可
- ・予定事業面積が不明なため、回答不可

(10) 市に期待する支援や配慮等その他、

- ・農振区域除外、林地開発許可、文化財調査などを行政側で先行して進める等の支援
- ・農振除外申請、農地転用の許可申請に対する支援
- ・土地所有者、関係機関への働きかけ

(11) その他、事業化に必要な条件

- ・進出企業に対しての助成金や税優遇

4. 今後の対応

- 今回のサウンディング型市場調査でいただいた意見を参考に、事業内容等を精査していくとともに、適地調査や事業可能性調査等の実施についても検討してまいります。

また、希望する事業者の方々とは継続的に意見交換を行うとともに、早期の事業着手につながる有益な民間提案があれば前向きに検討してまいります。